

https://farid.ps/articles/remembering_shaaban_al_dalou/ja.html

シャアバン・アフマド・アル＝ダルーの殉教一周年を記念して（2004年-2024年）

パレスチナの兄弟姉妹、そして専制政治に立ち向かう全ての人々へ、

今日、私たちはシャアバン・アフマド・アル＝ダルーの殉教から一周年を記念します。彼はガザの息子であり、コーランのハーフィズ（暗誦者）、輝かしく心優しい若者でした。今、彼は私たちと共にいるはずでした。21歳の誕生日を祝い、彼の成人、勉学、夢を祝うべきでした。しかし、代わりに私たちは悲しみの中で集まっています。なぜなら、彼はこの地上を歩いた最も卑劣な犯罪的蛮人たちによって強制的に私たちから引き裂かれ、命を奪われたからです。

2024年10月14日の夜、アル＝アクサー殉教者病院の上空は炎で赤く染まりました。避難民を保護していたテント、国際法の下で避難所を見つけたと思っていた家族たちは、火の炉と化しました。そのテントの一つの中で、シャアバンは怪我から回復中であり、点滴につながれ、母親がそばに座っていました。攻撃は彼らの避難所を炎の檻に変えました。彼の父親は炎の中に飛び込み、自身の肉体が燃える中、子供たちを引きずり出しましたが、最年長の息子にはたどり着けませんでした。彼の兄弟は炎の壁を突破しようとしましたが、引き戻されました。そして、業火が彼を飲み込む中、シャアバンの最後の行動は恐怖ではなく信仰でした。彼はシャハーダを宣言し、指を上げて神の唯一性を唱えながら神のもとに帰りました。彼の母親もまた、炎の中を這う中で火に飲み込まれ、身体が壊れました。4日後、彼の弟アブドゥル・ラフマンも殉教者として彼らに続きました。

これらは事故ではありませんでした。自然の悲劇でもありませんでした。これらは、住宅、学校、モスク、病院を爆撃し、子供たちの虐殺を「自衛」と呼ぶ大胆さを持った占領者による意図的な犯罪でした。彼らはシャアバンが病院の庭で傷ついて横たわっているときに彼を殺害しました。彼の命を、そして彼が夢見た未来—医学、工学、家族や人々への奉仕—を奪いました。

そして、彼がわずか19年の短い人生でどれほど素晴らしい人生を送ったことか。シャアバンは少年時代にコーランを暗誦し、家族に誇りをもたらしました。彼は学校で優秀な成績を収め、タウジーヒ試験で98%を獲得し、あらゆる学問の道を開きました。彼は医者になることを夢見していましたが、貧困がその道を閉ざしたとき、同じ献身でコンピュータ工学を追求しました。戦争中でも彼は教育を諦めませんでした。ローンや砲弾の下で長い距離を歩き、インターネットアクセスを見つけ、爆撃の最中に授業にログインしました。

彼は学生であるだけでなく、責任感の強い息子もありました。長子として、家族の負担を背負いました。ガザの病院が血液不足に陥ったとき、彼は献血しました。彼はアラビア語と英語で訴えを録音し、世界に見て、聞いて、行動するよう呼びかけました。彼はこう言いました。「かつて私は大きな夢を持っていたが、戦争はそれらを破壊し、私を肉体的にも精神的にも病

にさせた。」それでも絶望の中でも、彼は夢を見続けました。自分のためではなく、家族のため、ガザのため、決して訪れなかつた明日のために。

彼の兄弟ムハンマドは彼を「私の支え、友達、仲間」と呼びました。彼の母親は彼を模範的な息子と呼びました。コミュニティにとって、彼はインスピレーションでした。そして、彼の殉教後、世界にとって彼は象徴となりました。彼の最後の瞬間のバイラル映像一体が燃え、シャハーダのために指を上げている姿一は、数百万人の良心を揺さぶりました。彼の物語は議会で語られ、新聞に書かれ、大陸を越えて祈りの中で囁かれました。ガザの少年シャアバンは、人類の沈黙の鏡となりました。

一年が過ぎましたが、悲しみは和らいでいません。むしろ、傷は深まっています。彼なしで目覚める毎日、彼の不在だけでなく、彼を奪った残酷さを思い起こさせます。今、彼を21歳で、成人期に入り、卒業し、婚約し、新しい希望を抱いている姿で見るべきでした。しかし、代わりに私たちが見るのは、彼が母や弟と並んで横たわる墓だけです。

それでも、シャアバンは去っていません。彼は主の元で生きており、私たちには見えない方法で支えられています。彼の記憶は、忘れることを拒むすべての心、正義を求めるすべての声、爆弾の中でも夢を見るガザのすべての子の中に生きています。

殉教者たちに栄光を

アッラーがシャアバンの魂、彼の母アラア、弟アブドゥル・ラフマン、そしてすべての亡魂に慈悲を授けますように。彼らが預言者、真実な者、義人、殉教者たちと共にあの**ジャンナトウル・フィルダウス**の最高位を与えられますように。生者の心を癒し、彼らの犠牲が正義と解放へと導く光となりますように。

「アッラーの道で殺された者たちを死んだと思うな。いや、彼らは主の元で生きており、糧を与えられている。」
- スーラ・アール・イムラーン (3:169)

シャアバン、君を忘れない。世界は目を背けるかもしれないが、君の名前、君の笑顔、君の夢を私たちは持ち続ける。君は火によって我々から引き裂かれたが、君の光は君を飲み込もうとした闇よりも明るく輝いている。